

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員が正社員化を。

めざせ、均等待遇なくその差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

# 熊本地震ボランティア募集

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 3654  
16年5月20日(金)  
・Fax 095-828-1953

おはようございます。  
4月16日の熊本地震の本震発生から1か月がたちました。電気とガスはほぼ復旧したとの事ですが、被災住宅は8万件を超え、余震が続発する中で、今なお1万人を超える方々が自由な避難所での生活を余儀なくされています。また比較的被害の少ない住宅でも家屋内外の片付け作業が進まないため元の生活に戻れないという声も多く聞かれます。連休中は各地より多くのボランティアが被災地を訪れましたが、まだまだ多くの人手が必要とされています。  
郵政ユニオンにも長崎県労連を通じて「ボランティア募集」が届きました。また郵政ユニオン近畿地本からも6月12日からのボランティア活動への参加要請が届いています。支部でも九州地本と連携してこれらの行動に係りたいと思います。ユニオン組合員に限られません、志のある方は一

**被災者救援のカンパの継続とボランティアの募集について**

連日のご奮闘に心より敬意を表します。  
4月14日夜と16日未明の2回にわたって震度7の大地震が熊本地方を襲い、その後も大きな地震が継続して、熊本県と大分県で関連死等も含め67人もが亡くなり、多数の家屋や事業所の倒壊、土砂崩れ、農業被害が発生しています。  
こうしたもとで現地熊本では、出足早く、全労連九州ブロック、熊本県労連や民主団体がそれぞれ被災者支援の取り組みを展開してきましたが、これをさらに強化すべく、熊本県労連や民主団体による「熊本地震被災者支援共同センター」が5月14日に設立され、活動がスタートしました。  
つきましては、当面の取り組みについて以下のとおり要請します。

- 被災者救援のカンパの継続  
全労連「16年4月九州震災カンパ」など、各組合の実情に応じて、被災者救援カンパの取り組みを継続してください。
- ボランティアの募集  
宿泊が限られている関係もあり、5月中のボランティアは九州地方からの参加を中心とすることになっています。また、熊本県外からのボランティアについては土日を中心組織することになっています。内容等については以下のとおりです。
  - ボランティア活動の主な内容  
ア 被災者の家屋内外の片付け作業  
イ 避難所等での被災者への物資配布やアンケート活動など
  - ボランティア活動の実施期間  
ア 当面、土日を中心にボランティア活動を実施します。  
イ 6月以降、取り組み内容に変更がある場合は追ってお知らせします。
  - 作業等についての留意点  
ア 1日の作業時間帯はおおむね午前10時～午後5時まで（午前2時間、午後2時間程度を基本とし、無理をしない）  
イ 危険を伴う作業は行いません。
  - ボランティアの申し込みについて  
ボランティア参加の前々日(土日となる場合は木曜日)の夕方までに、申込書を県労連あて送付してください。

長崎県労働組合総連合

緒にやりましょう。支部役員まで、連絡をお願いいたします。  
近畿地方本部、熊本大震災ボランティア募集案内  
近畿地本は6月12日から18日まで熊本にボランティアに行くことを決定し、現在参加者を募集しているところです。  
九州地本にも、この期間で日程が合えば幾日でも一緒に活動を行いたいと、連絡がありました。

**熊本大震災災害ボランティア募集について**

記

活動期間 = 2016年6月12日(日)～18日(土)6泊7日〔テント・寝袋 or 会館等 4泊(具体的にはまだ未定)車中2泊〕

行動予定(変更の可能性有り)  
= 出発 12日 22時神戸駅南ロータリー、帰着 同駅 18日朝8時頃予定。

活動場所 = 熊本地方(西原村、益城町等の避難所等)

活動内容 = 参加者で話し合い決定します。  
炊き出し  
たこやき・お好み焼き等、関西粉もんの提供  
清掃やガレキ処理などの後片づけ活動等  
ボランティアセンターに登録し要請の活動等  
足湯マッサージや、アロマセラピー等の癒し活動  
上記内容で、参加者の資格等と相談し決定します。

移動手段 = 29人乗りマイクロバス(レンタカー)  
募集人数 = 20人

近畿地本書記長 板敷